

## 社会科シラバス（第2学年）

● 指導の方針

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・授業プリントを活用し、基礎学力の定着を目指します。
- ・毎時間の授業の導入に前時の復習（反復学習）を実施します。

○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・「単元を貫く課題」を設定し、計画的に生徒が主体となる活動を設けます。
- ・2～4人のグループ活動を取り入れ、話し合いを行います。

○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

- ・問題集やノートを定期的に評価し、学習習慣の定着を図ります。
- ・デジタル教科書を使用し、関心意欲や資料活用能力の向上を図ります。
- ・埼玉県や上尾市の身近な地域の資料や課題を積極的に活用します。

● 評価の観点と評価規準 ※各観点の達成状況 A85%以上 B50%以上 C50%未満

| 評価の観点 | 主体的に学習に取り組む態度   | 思考・判断・表現   | 知識・技能   |
|-------|---|--|---|
| 評価規準  | 社会的事象に対する関心を高めそれを主体的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚を持って責任を果たそうとしている。 | 社会的事象から課題を見だし社会的事象の意義や役割、相互の関連を多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断し、適切に表現している。 | 統計や新聞、映像など社会的事象に関する資料を収集し、情報を適切に選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。現代社会の見方や考え方の基礎、社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、その意義や役割、相互の関連などを理解し、知識を身につけている。 |
| 評価方法  | ①授業中の観察<br>②忘れ物<br>③発言<br>④提出物                                      | ①授業中の観察<br>②発言・発表<br>③ワークシート   | ①授業中の観察<br>②ワークシート<br>③定期テスト  |

評価と評定の関連

※評定（5段階）は、各観点の評価（A<sup>マル</sup>O=5点、A=4点、B=3点、C<sup>マル</sup>O=2点、C=1点）をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表（例）のとおりです。

| 各観点の組合せ  | 合計点数 | 三観点の組合せ  | 合計点数 | 三観点の組合せ                             | 合計点数 | 評定 |
|--|------|--|------|-------------------------------------|------|----|
| <sup>マル</sup> AO <sup>マル</sup> AO <sup>マル</sup> AO | 15点  | <sup>マル</sup> AO <sup>マル</sup> AO A                | 14点  |                                     |      | 5  |
| <sup>マル</sup> AO AA                                | 13点  | AAA  | 12点  | <sup>マル</sup> AO BB                 | 11点  | 4  |
| ABB  | 10点  | BBB  | 9点   | BBCO <sup>マル</sup>                  | 8点   | 3  |
| B <sup>マル</sup> CO <sup>マル</sup> CO <sup>マル</sup>  | 7点   | CO <sup>マル</sup> CO <sup>マル</sup> CO <sup>マル</sup> | 6点   | CO <sup>マル</sup> CO <sup>マル</sup> C | 5点   | 2  |
| CO <sup>マル</sup> CC                                | 4点   | CCC  | 3点   |                                     |      | 1  |

学習内容と評価のめあて

| 月 | 学 習 内 容  | 指 導 の め あ て   |
|---|--|---|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■世界から見た日本の人口</li> <li>・世界の人口分布と変化</li> <li>・日本の人口と過疎・過密問題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や主題図を関連づけて世界の人口問題の地域的特色を見出すとともに発展途上国における人口爆発や工業先進国における少子高齢化について説明している。</li> <li>・日本の人口構成や人口分布について意欲的に学習し、日本は少子高齢化の進み方が速いことに気づき、それがどのような課題をもたらしているのか理解している。</li> </ul>   |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■世界から見た日本の資源・エネルギーと産業</li> <li>・世界の資源・エネルギーと産業</li> <li>・日本の資源・エネルギーと環境問題</li> <li>・日本の農林水産業</li> <li>・日本の工業</li> <li>・日本の商業・サービス業</li> <li>・さまざまな発電方法と課題</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のエネルギー消費量の主題図を見て、日本などの先進工業国がエネルギーの大量消費国であることを読み取り、地球温暖化の原因や対策について関心を高めている。</li> <li>・資源・エネルギー自給率のグラフや発電量の内訳を表したグラフから、資源の輸入に頼る日本の現状と資源確保の必要性を理解している。</li> <li>・農産物や水産物の輸入が急増したことによる食料自給率の低下がもたらす問題について関心を持ち、これからの日本の農業の在り方を具体的に考えている。</li> <li>・日本の工業地域の分布図や工業地域別生産額のグラフから、工業地域の分布の特色を読み取るとともに、工業地域の立地条件の変容について考察している。</li> <li>・情報サービス業や医療、福祉関係のサービス業、エコツーリズムに取り組む観光産業などが成長してきていることを理解している。</li> <li>・身近にある発電所の立地理由や、これからの日本の発電の在り方について関心を持っている。</li> </ul> |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■世界と日本の結びつき</li> <li>・グローバル化が進む世界</li> <li>・日本各地を結ぶ交通・通信</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通・通信網の発達には、人や物、サービスの移動を活発にさせることに気づき、日本と強く結び付いている国、地域とそうでない国、地域について意欲的に調べている。</li> <li>・日本の高速交通網の変化が地域間の結びつきや地域の産業、人々の暮らしに様々な影響を与えていることを考察している。</li> </ul>  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■身近な地域の調査</li> <li>・身近な地域を見直そう</li> <li>・テーマを決めて調査計画を立てよう</li> <li>・野外観察や聞き取り調査をしよう</li> <li>・資料を調べて調査を深めよう</li> <li>・調査結果をまとめ、地域を見直そう</li> <li>・発表会をして地域の将来像を考えよう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の地理的事象や調査の関心が高まり、意欲的に情報を収集している。</li> <li>・身近な地域で見られる地理的事象を基にして適切な調査テーマを設定し、仮説をたて、調査結果の見通しや調査計画を立てている。</li> <li>・ルートマップや聞き取り調査票の事前準備、調査中のスケッチやメモなど地域調査の方法を身につけている。</li> <li>・野外調査で調べたことを踏まえ、さまざまな資料を収集し、適切に選択して調査テーマを追求している。</li> <li>・身近な地域の特色や課題を、地域の自然環境や他地域との結びつき、人々の営みとの関わりから理解し、それらの知識を身につけている。</li> <li>・他のグループの発表を聞いたり、意見交換をしたりすることで、身近な地域の特色や課題、地域のこれからの発展について考えようとしている。</li> </ul>  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■九州地方</li> <li>・九州地方の生活の舞台</li> <li>・九州地方の人々の営み</li> <li>・多様な環境問題と環境保全の取り組み</li> <li>・工業化・都市化にともなう地域への影響</li> <li>・持続可能な社会を創る</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方の、自然災害や公害について意欲的に追求しようとしている。</li> <li>・自然災害や環境問題を、自然環境の特色や地域開発の動向と関連づけてとらえている。</li> <li>・水俣市や北九州市の環境保全の取り組みを通し、地域の取り組みに関心を持っている。</li> <li>・昔の写真と現在の写真を比較して環境が大きく改善したことをとらえている。</li> </ul>   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 6 | <p>■中国・四国地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方の生活の舞台</li> <li>中国・四国地方の人々の営み</li> <li>都市の役割とその課題</li> <li>高齢化が進む農村と町おこし</li> <li>交通網の発展による地域の変化</li> <li>本州四国連絡橋と地域の結びつき</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>広島市などの過密問題を、身近な地域と比較するなどして関心を持っている。</li> <li>過疎地域とその高齢化を、人口の変化の図や人口ピラミッドから読み取っている。</li> <li>交通網の発展による地域の変化について利点と問題点の両面から考えている。</li> <li>本州と四国を橋で結ぶことが長年の懸案であった背景を多面的にとらえている。</li> </ul>   |
|   | <p>■近畿地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方の生活の舞台</li> <li>近畿地方の人々の営み</li> <li>古都の成り立ちと現在</li> <li>都市と郊外の成り立ち</li> <li>現代に開発されたニュータウン</li> <li>琵琶湖と環境保全の歩み</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方の自然環境の特色を、地図を使ってその特徴的な地形をとらえている。</li> <li>近畿地方の歴史的背景について意欲的に追求している。</li> <li>京都・奈良に世界から観光客が来る理由を、その歴史的背景からとらえている</li> <li>大阪市が江戸時代から商業都市として発展し、私鉄によって大阪大都市圏の形成が進んだことをとらえている。</li> <li>神戸市などで大規模な開発が行われてきたことと、その課題を地図や写真を使って読み取っている。</li> <li>琵琶湖周辺の都市化・工業化が進み、その環境保全のために人々が様々な取り組みをしてきたことに関心を持っている。</li> </ul>                                       |
| 7 | <p>■中部地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中部地方の生活の舞台</li> <li>中部地方の人々の営み</li> <li>工業の発展と地域の変化</li> <li>自然環境を生かした各地の農業</li> <li>世界と結びつく中部地方</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>中部地方の自然環境の特色と、北陸・中央高地・東海の気候的な違いを地図や雨温図を使って読み取っている。</li> <li>中部地方の産業について意欲的に追求している。</li> <li>東海地方と北陸地方の工業の特色を、自然的条件や社会的条件と関連付けて多面的に考察してとらえている。</li> <li>中央高地・東海・北陸各地域の農業の特色を自然の特色や交通の発達などを示す資料と関連付けて読み取っている。</li> <li>名古屋大都市圏と北陸地方の世界との結びつきを、地域的特色と関連付けて理解している。</li> </ul>  |
| 9 | <p>■関東地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関東地方の生活の舞台</li> <li>関東地方の人々の営み</li> <li>首都・東京と各地との結びつき</li> <li>各地との結びつきで成り立つ産業と生活</li> <li>世界への窓口・日本の中心</li> <li>人口集中の課題と対策</li> </ul>        | <p>雨温図や地形図などの資料から関東地方は平野が広く太平洋側の気候であることをとらえている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関東地方と他地域との結びつきについて意欲的に追求しようとしている。</li> <li>東京に人口が集中している理由を、政治的中枢機能が集中していることに着目して理解している。</li> <li>関東地方の農業や工業の特色とその変容について東京と周辺地域との結びつきや人口分布の変化などに着目してとらえている。</li> <li>地図や統計資料から、関東地方が日本にとってどのような地域であるか、多面的、多角的に考察する。</li> <li>資料から横浜市では人口が増加している一方で、さまざまな取り組みによって市のゴミの量が削減されたということを読み取っている。</li> </ul> |
|   | <p>■東北地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東北地方の生活の舞台</li> <li>東北地方の人々の営み</li> <li>祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり</li> <li>伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業</li> <li>過去からの継承と未来に向けた社会づくり</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>東北地方の太平洋側と日本海側の気候の違いを地形図や雨温図「地形と風の様子」などの資料から読みとり、適切に表現している。</li> <li>東北地方の生活や文化について関心を持ち意欲的に追求しようとしている。</li> <li>伝統行事や食文化、習慣と農業や気候との関連を通して、東北地方の地域的特色をとらえている。</li> <li>東北地方の産業の転換について、時代や社会の動きなど、多面的、多角的に考察している。</li> <li>石碑や伝承などを通して、人々がどのような思いで災害の教訓を受け継ぎ、未来へ向けて生かそうとしてきたのか、多面的多角的に考察している。</li> <li>東北地方の地域的特色を、生活、文化に着目して、地図や図表に適切に表現している。</li> </ul> |
|   | <p>■北海道地方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方の生活の舞台</li> <li>北海道地方の人々の営み</li> <li>自然の制約に適応する人々の工夫</li> <li>自然の制約や社会の変化を乗り越え</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方の地図や雨温図、海流の流れを示した資料を通して、北海道地方の気候が冷涼であることを理解している。</li> <li>北海道地方の自然環境に関心を持ち、自然環境と人々の生活の関わりについて意欲的に追求している。</li> </ul>   |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の特色を生かした観光産業</li> <li>アイヌの人たちと多文化共生</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方では冬の寒さや火山、豊かな海を利用した産業が行われていることを理解している。</li> <li>現在北海道の人々が直面している課題に対して、どのように対応すべきかを多面的、多角的に考察している。</li> <li>北海道地方への観光客が、なぜ8月に多いのか、また、なぜ厳しい冬でも観光客を引きつけているのか、多面的、多角的に考察している。</li> <li>地図などから、北海道にはアイヌ語が由来となった、各地の特色を反映した独特な地名が多いことを読み取っている。</li> </ul>   |
| 11 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ヨーロッパ人との出会いと全国統一</li> <li>キリスト教世界とルネサンス</li> <li>ヨーロッパと外の世界</li> <li>ヨーロッパ人との出会い</li> <li>織田信長・豊臣秀吉による統一事業</li> <li>兵農分離と朝鮮侵略</li> <li>桃山文化</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>イスラム教の広がりがヨーロッパにおよぼした影響や宗教改革の動きのあらましを理解しその知識を身につけている。</li> <li>ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカにおよぼした影響について考察しその過程や結果を説明している。</li> <li>鉄砲とキリスト教の伝来、南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響について考察し、説明している。</li> <li>信長と秀吉による統一事業の過程やその政策を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>豊臣秀吉に対する日本と朝鮮の評価の違いに関心を持ち、意欲的に調べている。</li> <li>ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>  |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■江戸幕府の成立と鎖国</li> <li>江戸幕府の成立と支配の仕組み</li> <li>さまざまな身分と暮らし</li> <li>貿易の振興から鎖国へ</li> <li>鎖国下の対外政策</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>260年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたのか関心を持ち意欲的に追及している。</li> <li>「身分別の人口の割合」「都市の農村の支配の仕組み」などから江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を調べてまとめている。</li> <li>島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とそれが人々の生活に与えた影響を理解しその知識を身につけている。</li> <li>鎖国下の日本と外国との関係について白地図などにわかりやすくまとめている。</li> </ul>   |
| 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■産業の発達と幕府政治の動き</li> <li>農業や諸産業の発達</li> <li>交通路の整備と都市の繁栄</li> <li>幕府政治の安定と元禄文化</li> <li>享保の改革と社会の変化</li> <li>田沼の政治と寛政の改革</li> <li>新しい学問と化政文化</li> <li>外国船の出現と天保の改革</li> <li>歴史の中のイスラム文化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の産業の様子について関心を高め、身近な地域の郷土資料館などを利用して意欲的に調べている。</li> <li>江戸時代に交通や都市が発達した理由を幕府や藩の政治のしくみ、物資の流通などから考察し説明している。</li> <li>文学作品や図版 見返り美人図などから元禄文化の特色を読み取っている。</li> <li>「百姓一揆、打ち壊しの発生件数」から社会の様子と変化を説明できるなど、グラフを活用している。</li> <li>田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、財政政策の違いなどについて考察し、説明している。</li> <li>国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、新しい学問や文化が生まれた背景を考察し、説明している。</li> <li>外国船の接近とそれに対する幕府の対応についてまとめ幕府に新たな課題が生じたことを理解しその知識を身につけている。</li> <li>イスラム文化とヨーロッパの文化、アジアの文化との関係を理解している。</li> </ul> |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■欧米の進出と日本の開国</li> <li>近代革命の時代</li> <li>産業革命と19世紀のヨーロッパ</li> <li>ロシアとアメリカの発展</li> <li>ヨーロッパのアジア侵略</li> <li>開国と不平等条約</li> <li>尊皇攘夷運動と開国の影響</li> <li>江戸幕府の滅亡</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>欧米諸国の近代化の様子に興味を持ち意欲的に追求している。</li> <li>産業革命を経て産業や社会のしくみが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し適切に表現している。</li> <li>ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>ヨーロッパのアジア侵略に対するアジア諸国の対応を、グラフや地図から読み取り、年表にまとめている。</li> <li>ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過</li> </ul>   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 2 |  | <p>程を調べ、適切に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開国の経済的影響を人々の生活との関わりから理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・開国の影響とその後の幕府政治の推移について、資料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。</li> </ul>  |
|   | <p>■明治維新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新政府の成立</li> <li>・明治維新の三大改革</li> <li>・富国強兵と文明開化</li> <li>・近代的な国際関係</li> <li>・国境と領土の確定</li> <li>・自由民権運動の高まり</li> <li>・立憲制国家の成立</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治維新の経緯に対する関心を高め意欲的に追及している。</li> <li>・新政府が行った学制・兵役・税制の改革を江戸時代の制度と比較しながら公正に判断し表現している。</li> <li>・文明開化などによる欧米文化の流入によって人々の生活が大きく変化したことを江戸時代と比較しながらまとめている。</li> <li>・新政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国の視点から考察し、公正に判断し表現している。</li> <li>・国境と領土の確定について北海道や沖縄などに対して新政府が行った政策を理解しその知識を身につけている。</li> <li>・自由民権運動のおこりや全国的な広まりの課程を理解し、その知識を身につけている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアで最初の立憲制国家が成立したことに気付き憲法の特色や近代国家の基礎が整えられたことを理解し、その知識を身につけている。</li> </ul> </li> </ul> |
| 3 | <p>■日清・日露戦争と近代産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米列強の侵略と条約改正</li> <li>・日清戦争</li> <li>・日露戦争</li> <li>・韓国と中国</li> <li>・産業革命の進展</li> <li>・近代文化の形成</li> <li>・足尾銅山と田中正造</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・条約改正に至るまでの過程について人々の努力があったことや国際情勢と関連させながら関心を持って意欲的に追及している。</li> <li>・日清戦争の原因と結果、その後の国内外の情勢を理解しその知識を身につけている。</li> <li>・日露戦争について国際関係での日本の立場、国内の反応の面から考察し表現している。</li> <li>・韓国の植民地化の進展や中国国内の様子を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・産業革命で人々の生活が変化したことに関心を持つとともに労働問題、社会問題が発生している点にも気付き意欲的に追及している。</li> <li>・明治時代の文化について関心を持ち、その内容や人々の業績を意欲的に追求している。</li> <li>・問題解決の取り組みについて、田中正造の行動と政府の動きを調べ、まとめている。</li> </ul>  |
|   | <p>■日清・日露戦争と近代産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米列強の侵略と条約改正</li> <li>・日清戦争</li> <li>・日露戦争</li> <li>・韓国と中国</li> <li>・産業革命の進展</li> <li>・近代文化の形成</li> <li>・足尾銅山と田中正造</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・条約改正に至るまでの過程について人々の努力があったことや国際情勢と関連させながら関心を持って意欲的に追及している。</li> <li>・日清戦争の原因と結果、その後の国内外の情勢を理解しその知識を身につけている。</li> <li>・日露戦争について国際関係での日本の立場、国内の反応の面から考察し表現している。</li> <li>・韓国の植民地化の進展や中国国内の様子を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・産業革命で人々の生活が変化したことに関心を持つとともに労働問題、社会問題が発生している点にも気付き意欲的に追及している。</li> <li>・明治時代の文化について関心を持ち、その内容や人々の業績を意欲的に追求している。</li> <li>・問題解決の取り組みについて、田中正造の行動と政府の動きを調べ、まとめている。</li> </ul>  |